

令和6年度 ながさき農林業大賞受賞者一覧

1 農林水産大臣賞及び長崎県知事賞

	部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等		地区
	花き部門 (トップファーマー)	はまつか つよし えみ 浜塚 剛・恵美	雲仙市	カーネーション ハーブ	74a 33a	島原
1	【取組内容】 ・実需者ニーズの把握を積極的に行い、土づくりや定期的な土壌分析結果を活用した肥培管理、植物生理を第一に考えた栽培管理の実践により高品質なカーネーションを生産し、浜塚氏を表す「TSUYOSHI'S FLOWERS」としてブランドを確立。 ・UV-Bランプ等の新技術の積極的な導入による減農薬栽培、農福連携により花びらを多色染めした高付加価値商品レインボーカーネーションの生産、外国人材を活用した雇用型経営を実践。					

2 長崎県知事賞

	部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等		地区
1	露地野菜部門 (トップファーマー)	たかうら かつひろ きょうこ 高浦 勝宏・京子	西海市	ゆでぼし大根 すいか 春かぼちゃ 千切り大根 ばれいしょ	550a 460a 100a 80a 100a	県央
2	施設野菜部門 (トップファーマー)	おがわ ひろのり まいこ 小川 博則・麻衣子	佐世保市	トマト メロン アスパラガス その他	34a 34a 17a 65a	県北
3	果樹部門 (トップファーマー)	たにがわ よしひろ かずみ 谷川 義浩・和美	長与町	露地みかん 中晩柑 いちじく	219a 42a 10a	県央
4	畜産部門 (トップファーマー)	おがわ ひろのぶ 小川 博信	雲仙市	肉用牛肥育	168頭	島原
5	農産部門 (トップファーマー)	のうじくみあいほうじん ひろうとえいのうくみあい 農事組合法人 平人営農組合	壱岐市	大麦 水稲 大豆 飼料作物 ばれいしょ	1,117a 548a 285a 282a 90a	壱岐
6	特産部門 (トップファーマー)	ふくだ しんや 福田 新也	東彼杵町	茶 水稲	820a 35a	県央
7	林産部門 (トップファーマー)	かぶしきがいしゃ ながさきりんぎょう 株式会社 長崎林業	諫早市	木材生産	260.8ha	県央
8	しまの農林業経営部門 (トップファーマー)	やまくち ひろゆき 山口 廣行	五島市	春かぼちゃ 高菜 スナップエンドウ	58a 200a 20a	五島
9	産地集団部門 (いきいきファーム)	ながさきけんあうのうぎょうきょうどうくみあい 長崎県央農業協同組合 とうぶ ぶかい 東部ハウスゴーヤー部会	諫早市	にがうり	5.2ha	県央
10	農山村地域保全部門 (げんきビレッジ)	まぼろし たかき しんこうきょうぎかい 幻の高来そば振興協議会	諫早市	構成員数 設立年	48人 平成22年	県央

農林水産大臣賞 及び 長崎県知事賞

受賞部門：花き部門（トップファーマー）

氏名

はまつか つよし
浜塚 剛
はまつか えみ
浜塚 恵美



市町名 雲仙市

所属団体 瑞穂カーネーション部会

1 経営の概要

	主品目（カーネーション）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	74a	ハーブ 33a	107 a
単収	124,794 本/10a	—	—
生産量（販売量）	923,476 本	53,125 本	976,701 本
労働時間 (うち雇用時間)	24,571 時間 (17,351 時間)	1,293 時間 (913 時間)	25,864 時間 (18,264 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	みどり認定、農薬使用低減の取組（防虫ネット、UV-B ランプ）、 有機質資材の施用、生産履歴記帳、MPS 花き日持ち品質管理認証		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 浜塚氏を表すブランド「TSUYOSHI'S FLOWERS」で販売されるカーネーションは、全国でもトップクラスの高品質カーネーションとして大都市圏の市場・小売店に高く評価され、取引されている。
- (2) 害虫のふ化・生育抑制効果がある UV-B ランプ等の新技術の導入による減農薬栽培、徹底した土づくりや定期的な土壌分析に基づいた肥培管理、環境データに基づいた栽培管理を実践するなど、新しいものを取り入れながら経験と技術により手間を惜しまない管理を行い、県内でもトップクラスの単収を実現している。
- (3) 花びらを多色染めしたレインボーカーネーションは、高付加価値商品として取引されている。また、この取組は、障害者福祉施設と連携して行われており、障がい者の社会参画と農業分野の新たな働き手の確保につながっている。
- (4) 長崎県花き振興協議会カーネーション部会の役員や雲仙市花き振興協議会事務局長を務めるなど地域のリーダーとして活躍するとともに、本県花き生産及び地域農業に大きく貢献している。



カーネーションの摘心作業

長崎県知事賞 受賞部門：露地野菜部門（トップファーマー）

氏名

たかうら かつひろ
高浦 勝宏

たかうら きょうこ
高浦 京子

市町名 西海市

所属団体 長崎西彼農協西海支店

ゆでぼし大根部会

面高すいか出荷組合



1 経営の概要

	主品目（ゆでぼし大根）	その他		合計
作付面積(頭羽数)	550a	すいか、かぼちゃ他 807a		1,357a
単収	264kg/10a（加工後）	—		—
生産量（販売量）	14.5t	—		—
労働時間 （うち雇用時間）	—	—		12,880 時間 (3,904 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	耐病性品種の導入、生産履歴記帳、資源循環の取組（地域内資源利用）			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) ゆでぼし大根を基軸としたすいか、かぼちゃ、ばれいしょ、千切り大根といった露地野菜を組み合わせた営農体系を確立している。
- (2) 適正な雇用労力の確保及び省力機械の活用により、高い労働生産性と規模拡大を実践し、ゆでぼし大根の作付け面積は県内トップクラスを誇る。
- (3) 長崎西彼農協ゆでぼし大根部会長を務めており、西海市特産品であるゆでぼし大根産地の維持発展のため、高品質生産とあわせて、県内外での販促活動やメディア等での PR、食育活動にも積極的に取り組んでいる。またすいかについても「面高すいか」としてブランドを確立し生産、販売を行っている。
- (4) 農業体験の受入や遊休農地の解消、地域の環境整備活動、また面高地域捕獲隊長として鳥獣被害対策に努めるなど地域農業の振興にも貢献している。



干し棚での風乾作業

長崎県知事賞 受賞部門：施設野菜部門（トップファーマー）

氏名

おがわ ひろのり
小川 博則

おがわ まいこ
小川 麻衣子

市町名 佐世保市

所属団体 ながさき西海農業協同組合柚木トマト部会
ながさき西海農業協同組合柚木メロン部会
JA ながさき西海アスパラガス部会



1 経営の概要

	主品目（施設野菜）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	トマト 34a メロン 34a アスパラガス 17a	水稲、その他野菜 65a	150 a
単収	トマト 11,546 kg/10a メロン 2,059 kg/10a アスパラガス 2,877 kg/10a	—	—
生産量（販売量）	トマト 39.3t メロン 7.0t アスパラガス 4.9t	—	—
労働時間 (うち雇用時間)	8,555 時間 (1,201 時間)	1,509 時間 (63 時間)	10,064 時間 (1,264 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	農薬使用低減の取組（防虫ネット、黄色灯）、生産履歴記帳、 資源循環の取組（自己完結）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 同一ハウスにおけるトマト・メロン栽培の周年出荷体系を確立している。
- (2) 部会内でいち早くスマート・省力機器を活用し、長崎型低コスト統合環境制御装置導入ハウスのトマトにおいては部会平均の2倍となる単収（17t/10a）やアスパラガスは自動かん水装置（点滴かん水）を導入し、県平均の1.7倍となる単収（2,887kg/10a）を実現している。
- (3) 労力確保のため、地域の青年農業者組織である佐世保市青年農業者連絡協議会へ作業委託する体制を整備するとともに、年間を通じた農福連携で地域雇用を創出している。
- (4) ながさき西海農業協同組合柚木トマト部会長を務め、地域のリーダーとして活躍するとともに、研修生や農業体験の受け入れなど地域農業の振興にも貢献している。



トマトの選果作業

長崎県知事賞 受賞部門：果樹部門（トップファーマー）

氏名

たにがわ よしひろ
谷川 義浩

たにがわ かずみ
谷川 和美



市町名 長与町

所属団体 長崎西彼農業協同組合柑橘部会

1 経営の概要

	主品目 (柑橘)	その他	合計
作付面積(頭羽数)	温州みかん 219a 施設中晩柑 17a 露地中晩柑 25a	施設いちじく 10a	271a
単収	温州みかん 2,075 kg /10a 施設中晩柑 3,555kg/10a 露地中晩柑 1,518 kg/10a	—	—
生産量 (販売量)	温州みかん 42.5t 施設中晩柑 6.0t 露地中晩柑 3.8t	311 kg	52.7t
労働時間 (うち雇用時間)	—	—	5,936 時間 (1,536 時間)
家族従事者数	2 人	経営の継続性	—
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	せん定枝をチップ化し土壌還元、発生子察を活用した適期防除、 長崎県版 GAP (初心者用) 実践、資源循環の取組 (2 者間連携)		

2 受賞の理由 (特徴的な取組)

(1) 自宅周辺に園地を集約し、約 7 割の園地での園内道整備や、軽トラックが活用できるよう小規模基盤整備を実施するなど省力化に努めるとともに、生産性が高い 20 年生以下の樹齢構成の園地が半分以上を占めるなど計画的な改植を行うことで県平均よりも約 10 ポイント高い生果率 (91%) を実現している。



みかんの摘果作業

(2) 平成 17 年に畑かん整備後にマルチ被覆とかん水施設を一体化したマルドリ栽培を導入。また現在は豚ぶん堆肥ペレット混合肥料や令和 3 年~4 年度にスマート農業現地実証プロジェクトの現地実証に参加するなど先進的な取組を行っている。

(3) 長与町認定農業者会長、長崎県 JA 果樹研究会副会長、JA 長崎せいひ柑橘部会長等の数多くの役職に就任し、リーダーとして地域農業および本県果樹産地振興に大きく貢献している。

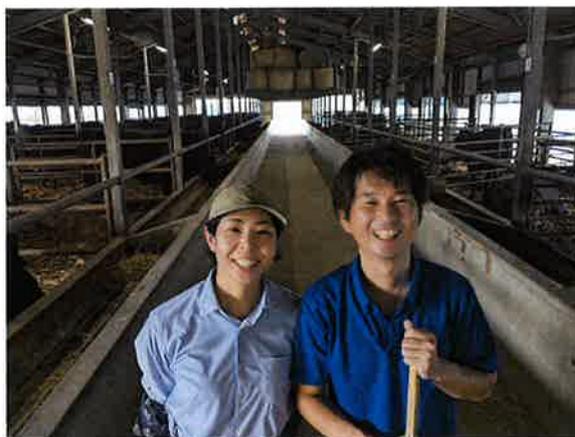
長崎県知事賞 受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

氏名

おがわ ひろのぶ
小川 博信

市町名 雲仙市

所属団体 長崎県 JA 肉用牛部会連絡協議会
JA 島原雲仙枝肉部会連絡協議会
西部地区和牛繁殖連絡協議会
千々石町枝肉部会
千々石町和牛改良組合



1 経営の概要

	主品目（肉用牛）	その他		合 計
作付面積(頭羽数)	肥育牛 168 頭	—		肥育牛 168 頭
単収	—	—		—
生産量（販売量）	88 頭	—		—
労働時間 （うち雇用時間）	7,440 時間 (240 時間)	—		7,440 時間 (240 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定締結			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	抗生剤の使用低減、生産履歴記帳、生産履歴に基づく販売、 資源循環の取組（地域内資源の供給）			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 地域の肥育農家とともに繁殖経営の法人を立ち上げ、地域内一貫生産により素牛コストを削減している。
- (2) 枝肉生産技術は高く、全国和牛能力共進会長崎大会では優等賞 3 席、鹿児島大会では優等賞 4 席と長崎県で最も高い成績を上げ、長崎和牛のブランド向上に寄与している。
- (3) 小川氏が生産した牛肉を主に扱う実弟の焼肉店で消費者ニーズを把握し、そのニーズに基づく飼養管理の改善を行っている。また飼育状況など自らの活動や考えを定期的に SNS 等で発信し、付加価値向上・販路拡大を実践している。



飼料の掃きこみ作業

長崎県知事賞 受賞部門：農産部門（トップファーマー）

法人名

のうじくみあいほうじん ひろうとえいのうくみあい
農事組合法人 平人営農組合

代表者名 代表理事 つしかわ ひでき
 辻川 秀樹

市町名 壱岐市

所属団体 壱岐地域集落営農法人連絡協議会
 壱岐市米麦種子生産者協議会
 平人地区保全組合



1 経営の概要

	主品目(大麦)	その他		合 計	
作付面積(頭羽数)	1,117a	水稲 548a	大豆 285a	2,322a	
		飼料作物 282a	ばれいしょ 90a		
単収	372.8kg/10a	—			—
生産量(販売量)	41.7t	—			—
労働時間 (うち雇用時間)	559時間 (一時間)	4,300時間 (704時間)		4,859時間 (704時間)	
役員数	4人	経営の継続性	法人設立(平成27年)		
労働条件の整備	就業規則に関する規定有				
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	特別栽培、エコファーマー、生産履歴記帳、資源循環の取組(2者間連携)				

2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 大麦、水稲、大豆を中心に、飼料作物、ばれいしょ栽培にも取り組んでいる集落営農法人である。
- (2) 直進アシストトラクターやラジコン草刈り機、水管理システムなどのスマート機器を県内でも先駆けて導入・活用し、省力化に取り組んでおり、麦の品質は高く、水稲においては、壱岐地域の法人の中でトップの単収を誇る。
- (3) 大麦は、麦焼酎発祥の地である壱岐の特産品麦焼酎の原料として全量を蔵元に供給しており、蔵元が求める品質・量を確保するため、品種に応じた栽培体系を構築している。また防除の徹底による品質向上や減化学肥料栽培にも取り組んでいる。
- (4) ばれいしょは、壱岐でブランド化に取り組んでいる「壱岐黄金®」の生産にいち早く取り組むなど産地化をけん引している。



水稲作付後の圃場管理(耕うん)

長崎県知事賞

受賞部門：特産部門（トップファーマー）

氏名

ふくだ しんや
福田 新也

市町名 東彼杵町

所属団体 長崎県中央農業協同組合茶業部会
株式会社 FORTHEES



1 経営の概要

	主品目（茶）	その他	合 計
作付面積（頭羽数）	820a	水稲 35a	855a
単収	110 kg/10a	—	—
生産量（販売量）	9t	—	—
労働時間 （うち雇用時間）	7,535 時間 (1,280 時間)	45 時間 (0 時間)	7,580 時間 (1,280 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	発生予察による減農薬・土壌診断に基づく減化学肥料の取組 幼木期からの堆肥等による土づくり、生産履歴記帳、ASIAGAP、 資源循環の取組（地域内資源の利用）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- 新品種「つゆひかり」、「さえあかり」など優良品種への改植を積極的に進め、早生品種から晩生品種まで幅広く植栽し、分散化による適期摘採を実践している。適期摘採と高い製茶技術により、長年安定した高品質茶の生産を行っており、茶商から極めて高い評価を得ている。
- 地道な土づくりときめ細やかな茶園管理が評価され、県茶園共進会では、常に上位入賞し地域の茶栽培の模範となっている。さらに、全国茶品評会でも常に上位入賞し、平成 30 年度には日本一となる農林水産大臣賞を受賞するなど、自らの茶のみならず「そのぎ茶ブランド」の全国での認知度向上・確立に貢献している。



製茶作業における蒸葉の確認の様子

- 地域の若手生産者とともに、海外での需要が高まっている「抹茶」の輸出に向けた取り組みを先導し、国の事業を活用し、アメリカやオランダでのプロモーション活動を積極的に行い、海外への販路を開拓したことで、福田氏の出荷先である(株) FORTHEES は県内トップクラスの茶の輸出事業体へ成長している。

長崎県知事賞

受賞部門：林産部門（トップファーマー）

法人名

かぶしがいしゃ ながさきりんぎょう
株式会社 長崎林業

代表者名 代表取締役 城臺 好之介

市町名 諫早市



1 経営の概要

	主品目（木材生産）	その他		合計
作付面積(頭羽数)	260.8ha	—		260.8 ha
単収	41.6 m ³ /ha	—		—
生産量（販売量）	13,406 m ³	—		—
労働時間 (うち雇用時間)	32,520 時間 (27,720 時間)	—		32,520 時間 (27,720 時間)
役員数	4 人	経営の継続性	法人設立（平成 16 年）	
労働条件の整備	就業規則に関する規定有			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	路網密度及び、切土・盛土が基準以下であり、環境配慮の取組を実践			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

(1) 県内の民間林業事業体では最も木材生産量が多く、高性能林業機械の保有台数や従業員の数もトップクラスであり、現場作業の進捗管理、課題分析に基づく改善を重ね、生産性向上につなげている。このような取組により、生産量は5年前より1.5倍と飛躍的に増加している。

(2) 森林整備がまだ保育中心であった約20年前から、全国的にも先駆けて木材搬出のための作業道の技術者育成に力を入れ、作業道技術者では



森林作業道研修指導

県内で唯一、路網作設オペレーター上級指導者に認定されている。全国各地で開催される森林作業道研修での指導実績も多く、県内外の技術者育成にも貢献している。

(3) 県内の林業技術者の育成指導のほか、県の施策等の方向性の検討や取組推進のために組織している各種委員会等においても、林業事業体の代表的な立場で助言いただく等、県の林業推進活動への協力や魅力ある林業経営は、他の模範となっている。

長崎県知事賞 受賞部門：しまの農林業経営部門（トップファーマー）

氏名

やまぐち ひろゆき
山口 廣行



市町名 五島市

所属団体 J Aごとうほめられかぼちゃ部会
ごとう農協高菜部会
J Aごとうスナップ部会
ごとう農協南瓜部会

1 経営の概要

	主品目（春かぼちゃ）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	58a	たかな 200a スナップエンドウ 20a	278a
単収	3,210kg/10a	—	—
生産量（販売量）	18.6t	—	—
労働時間 （うち雇用時間）	906時間 （70時間）	2,348時間 （675時間）	3,254時間 （745時間）
家族従事者数	2人	経営の継続性	—
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	エコファーマー、生産履歴記帳、資源循環の取組（地域内資源の利用）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 契約取引品目（かぼちゃ、たかな）を主体とし、安定的な収入を確保している地域の模範的な家族経営を実践している。
- (2) 令和4年に設立された「ほめられかぼちゃ生産部会」では、きめ細かな栽培管理により「ほめられかぼちゃ」のブランド率が85%（部会平均65%）、2年連続で収量が部会1位となるなど、部会の生産をけん引している。また葉たばこ栽培の経験から取り入れた、かぼちゃの生育初期の保温対策や防風対策技術は部会員が多く視察に訪れるなど、部会全体の安定生産に寄与している。
- (3) 高い生産技術や模範性から部会の役員を務め、産地の先頭に立ち献身的に活動するとともに農業委員として地域農業の維持発展に寄与している。



かぼちゃ収穫作業

長崎県知事賞 受賞部門：産地集団部門（いきいきファーム）

ながさきけんおうのうぎょうきょうどうくみあい
長崎県中央農業協同組合

とうぶ ぶかい
東部ハウスゴーヤー部会

代表者名 部会長
たにわたり りょうじ
谷渡 亮二

市町名 諫早市

発足・設立年 令和2年



1 組織の概要

品目	にがうり	構成員数 (認定農業者数)	32人 (27人)	産地規模	5.2ha
販売量	244t	販売額	117,770千円		
単収	4,696 kg/10a	単価	482円/kg		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 部会員数32人、1部会員あたりの平均作付規模は16.2aで、アスパラガスの転換品目としてにがうりの新産地を確立するとともに、それぞれの農業経営の維持発展が図られている。
- (2) 新規就農者を積極的に受け入れるとともに、就農にあたっては、部会による住居や遊休ハウスの斡旋、事業を活用したハウス建設など初期投資を抑えることで栽培に取り組みやすい環境を整え、前身の研究会発足から7年で販売額1億円規模の産地まで拡大し、他産地の模範となっている。
- (3) 労力面では、8年前から農福連携に取り組み、農作業の一部を福祉事業所に外部化することで省力化につながっている。また、学校給食への食材提供を通じて「食育」にも取り組んでいる。



ゴーヤー現地検討会の様子



ゴーヤー目揃の様子

長崎県知事賞 受賞部門：農山村地域保全部門（げんきビレッジ）

まぼろし たかき しんこうきょうぎかい
幻の高来そば振興協議会

代表者名 会長 やまぐち 徳男
 市町名 諫早市
 発足・設立年 平成 22 年



1 組織の概要

構成員数	48 人	組織の性格	任意組織
活動内容	そばの栽培・加工・販売・種子保存、そば打ち体験、新そばまつりの運営等		
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕地、耕作放棄地、干陸地等を利用したそばの栽培（R5 11.3ha） ・平成 22 年発足時から継続し年に 1 回の新そばまつりの開催（コロナ禍を除く） ・平成 31 年クラウドファンディングを活用し、「幻の高来そば 食事処」をオープン。 		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- （1） 地域資源であるそばの在来種を保全する体制を確立するとともに、休耕地や耕作放棄地、干陸地を活用したそば産地の拡大を通じ、農山村の持つ多面的機能の維持、地域の環境保全に大きく寄与している。
- （2） そばの栽培面では、高畝栽培や排水対策、イノシシ被害対策等を積極的に取り組むことにより、令和 5 年産の平均単収は全国平均の 2 倍と全国トップクラスの実績を上げている。
- （3） クラウドファンディングを活用して高来そばの食事処を整備するとともに、協議会が主体的に企画・運営を行う「新そばまつり」やそば打ち体験教室、小学校での食育活動、既存イベントとのコラボ等により、多くの人が郷土食文化に触れる機会を設けており、交流人口の拡大など、地域活性化にも大きく貢献している。



そばの収量検見